

。○。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2014. 7. 7

下水道機構の『新技術情報』 第148号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

今日は七夕ですね。残念ながら関東では天の川を見るのは難しそうです。九州・熊本での大雨に引き続き、沖縄には台風が接近しているようです。今後本州にも影響が出てきそうです。今後の台風情報にご注意ください。

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第148号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

#### ◆◆◆トピックス◆◆◆

##### ■インフォメーション

- ・第59回下水道新技術セミナーを8/22 東京会場、8/29 大阪会場にて開催します
- ・下水道展'14 大阪へ出展します！
- ・HPへH25年度建設技術審査証明事業 57技術の一覧と概要版を収録しました
- ・マニュアル講習会のアンケート結果を掲載しました

##### ■機構の動き

- ・今週は、7/7(月)に審査証明書交付式を、7/9(水)に新技術設計手法等共同研究委員会、7/10(木)に技術サロンを、7/11(金)に第1審査証明委員会を開催します！

##### ■Tea Break

- ・早いもので(技術評価部 K.Yさんからの投稿です)

##### ■まる子のゆいまーる♪

- ・今週も海外出張の様子をお届けします♪今回はどこの国？  
ヒント！この国の言葉で「こんにちは」は「ジェン ドブレ」。難しいかな？

##### ■国からの情報

- ・7/4 付下水道ホットインフォメーション

。○。○。

インフォメーション (最新の話です)

。○。○。

- 第59回下水道新技術セミナーを8/22 東京会場、8/29 大阪会場にて開催します  
閉鎖性水域の水質改善を実現するため、富栄養化の原因となる窒素・リン等を除

去する高度処理の早期導入が必要となっているものの、耐用年数等の問題から全面的な増改築は当面見込めない現状があります。

そういった中、一部の下水処理場においては、環境基準の早期達成や下水処理の安定化等のため、既存施設を活用した部分的な施設・設備の改造や運転管理の工夫により、処理水質を向上させる取り組みが進められてきています。

そこで、早期に導入可能な方法を採用することにより処理水質の向上を図る「既存施設を活用した高度処理の推進」について、下記のとおり第 59 回下水道新技術セミナーを開催します。

国土交通省や学識経験者による講演など、貴重な話も聞くことができます。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

日 時：平成 26 年 8 月 22 日(金)【東京会場】/平成 26 年 8 月 29 日(金)【大阪会場】  
場 所：東京都港区 発明会館 /大阪市西区 大阪科学技術センター  
時 間：13:00~16:45(受付 12:30~)

※詳細、申し込みはこちら

→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/new-tech-seminar/seminar-info>

●下水道展'14 大阪へ出展します！

2014 年 7 月 22 日(火)~7 月 25 日(金)の 4 日間、日本発！暮らしを支える底力「下水道展'14 大阪」がインテックス大阪にて開催されます。

下水道機構は、『技術の橋渡し』～人・技術・情報をつなぐ“かけはし”に！をテーマに 4 号館(小間番号 4-030)にて出展します！

※出展情報の詳細はこちら→

<http://www.jiwet.or.jp/%e8%a1%8c%e3%81%93%e3%81%86%e3%82%88%ef%bc%81%e4%b8%8b%e6%b0%b4%e9%81%93%e5%b1%9514%e5%a4%a7%e9%98%aa>

●平成 25 年度 建設技術審査証明事業 57 技術の一覧と概要版を収録しました

内訳は水処理設備・汚泥処理設備・その他設備等 15 件、工法・資器材 13 件、更生・修繕技術 26 件、防食技術 3 件となっており、各概要版には技術の概要や特徴、適用範囲等がわかりやすく記述されております。

※年度別審査証明技術はこちら

<http://www.jiwet.or.jp/examination/by-year-3>

●マニュアル講習会のアンケート結果を掲載しました

先々週のメルマガにて、平成 26 年 6 月 20 日(金)に行われたマニュアル活用講習会の開催報告を行ったところですが、当日に皆様からご記入いただいたアンケートの中に、参加者の内訳の公表についてのご要望がありましたので、アンケート集計抜粋を作成しました。

※アンケート結果はこちら→

---

。 。 ○ 。

機構の動き (機構の行事予定です)

---

。 。 ○ 。

●平成 26 年 7 月 7 日(月) 14 : 00~15:00

行 事 : 平成 26 年度審査証明書交付式

場 所 : 理事長室

内 容 : 平成 25 年度 建設技術審査証明 (下水道技術) 審査証明書の交付

●平成 26 年 7 月 9 日(水)

行 事 : 平成 26 年度第 1 回 新技術設計手法等共同研究委員会

場 所 : 機構 8 階 中会議室

内 容 : 下水処理場の効率的運用情報の規格等に関する共同研究 (案) (新規)

●平成 26 年 7 月 10 日(木) 17:00~18:00

行 事 : 第 328 回技術サロン

場 所 : 機構 8 階 中会議室

ゲスト : 国土技術政策総合研究所 下水道機能復旧研究官 尾崎正明 氏

テーマ : 『下水道危機管理の現状と課題』

※参加お申し込みはこちら

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

●平成 26 年 7 月 11 日(金) 13:00~17:30

行 事 : 第 1 審査証明委員会

場 所 : 機構 8 階 特別会議室

内 容 : 26 年度新規申請案件 2 件、変更案件 6 件、更新案件 1 件の審議

○平成 26 年 7 月 15 日(火) 13:30~17:40

行 事 : 第 3 審査証明委員会

場 所 : 機構 8 階 特別会議室

内 容 : 26 年度新規申請案件 2 件、変更案件 2 件、更新案件 4 件の審議

○平成 26 年 7 月 16 日(水)

行 事 : 平成 26 年度第 1 回 管路技術共同研究委員会

場 所 : 機構 8 階 中会議室

内 容 : (1) 修繕工法による管きよ長寿命化に関する共同研究 (終了)

(2) 下水道用マンホール改築・修繕工法に関する共同研究 (継続)

(3) 下水道管路施設へのフラッシュゲートの適用に関する共同研究 (新規)

○平成 26 年 7 月 17 日 (火) 13:00~17:30

行 事：第 5 審査証明委員会

場 所：機構 8 階 特別会議室

内 容：26 年度新規申請案件 3 件、変更案件 2 件、更新案件 3 件の審議

\_\_\_\_\_。○。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。○。\_\_\_\_\_

●早いもので (技術評価部 K.Y さんからの投稿です)

自分が、当機構に来て、3 年目となります。

1 年目は、初めて携わる業務に何とか付いていくので精いっぱい。2 年目は、少し周りが見えたような気もしますが、依頼者の増加や人員の縮小により、これまた目が回る思いでした。そんな中、私生活も忙しく。1 年目は結婚、2 年目は妻の妊娠と、これまた目まぐるしく過ぎていき、息つく暇もありませんでした。しかし、公私ともに非常に充実していました。これも、機構に来たおかげで、変わったことだと思います。

さて、3 年目です！妻は無事出産し、息子が生まれ、今はその子に振り回される毎日。業務では、人員も増え、2 年目よりも周り先が、多少は見えるような気がします。今年も充実した年になる事でしょう。

しかし、機構での業務も最後の年となります。自分の後任や、今一緒に業務をしている方々に、何か良いものを残せないだろうか？と考えることが増えました。短い時間の中で、答えを出せるよう、頑張りたいと思います。

\_\_\_\_\_。○。

まる子のゆいまーる (皆様との交流の場です)

。○。\_\_\_\_\_

●今週も海外出張の様子をお届けします♪今回はどこの国？

ヒント！この国の言葉で「こんにちは」は「ジェン ドブレ」。難しいかな。

研究第一部の森谷主任研究員と研究第二部の塚田総括主任研究員の海外出張の様子をお届けします！

※答えはこちら → <http://www.jiwet.or.jp/yuimaru2014-7-7>

\*/\*\*/\*

皆さまからの情報提供をお待ちしております！

提供はこちらまで→



[jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)



新下水道ビジョンは、第9回下水道政策研究委員会（7/2開催）での議論を受け、近々公表される予定ですが、「下水道展’14大阪」では、同委員会の花木委員長（東京大学大学院工学系研究科教授）による特別講演が7月23日に実施される予定です。同講演会では、京都大学大学院藤井聡教授による国土強靱化に関する特別講演も予定されています。詳細は、下記HPをご覧ください。

「日本発！暮らしを支える底力 下水道展’14大阪」

<http://www.gesuidouten.jp/kikaku/index.html#kikaku01>

●《下水道展併催行事》下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト）の平成24年度採択4技術のガイドライン説明会を開催します！【国土交通省国土技術政策総合研究所】

国土交通省国土技術政策総合研究所では、同省下水道部とともに、下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト）を実施しているところですが、平成24年度にスタートした実証事業のうち下記4技術に関しまして、研究成果を踏まえ、下水道事業者が革新的技術の導入を検討する際のガイドラインを近日中に刊行する予定です。そこで、下水道展の併催企画として、下記の要領でガイドライン説明会を開催しますので、ご参加を希望される場合には、7月18日（金）までに、

[b-dash@nilim.go.jp](mailto:b-dash@nilim.go.jp) まで、代表者名（団体名）及び出席予定人数をご連絡下さい。

【対象技術】

- ・ 廃熱利用型 低コスト下水汚泥固形燃料化技術
- ・ 栄養塩除去と資源再生（リン）技術
- ・ 管路内設置型熱回収技術を用いた下水熱利用技術
- ・ 固定床型アナモックスプロセスによる高効率窒素除去技術

【説明会要領】

- ・ 日時：7月23日（水）13：30～17：00
- ・ 会場：インテックス大阪 5号館Bゾーン
- ・ 募集人数：先着200名（当日申込も可能ですが、申込み多数の場合、ご希望に添えない場合がございます）

<http://www.nilim.go.jp/lab/ecg/index.htm>

●大阪府の太陽光発電プラント（メガソーラー）が運転開始【大阪府】

大阪府が推進する新エネルギー政策の一環として導入した、南大阪湾岸流域下水道北部水みらいセンター及び中部水みらいセンターの太陽光発電プラントが、平成26年7月から発電を開始することとなりました。

（下記URLで報道発表しております）

<http://www.pref.osaka.lg.jp/hodo/index.php?site=fumin&pageId=16448>

【事業概要】

[北部・中部水みらいセンター共通]

- ・ 発電、売電事業者：大阪府
- ・ 賃貸借契約者：阪神高速技術・クリハラント共同企業体
- ・ 事業面積：3ヘクタール
- ・ 発電期間：20年間（平成26年7月から平成46年6月）

・出力 : 2メガワット

[北部水みらいセンター]

・推定年間発電量: 約222万kwh (一般家庭約620世帯分に相当)

[中部水みらいセンター]

・推定年間発電量: 約215万kwh (一般家庭約600世帯分に相当)

※賃貸借契約者が太陽光発電プラントの設置及びメンテナンスを行い、大阪府はそれをリースする方式です。また災害等による停電時には、水みらいセンターの下水処理施設へ非常用電源として一部供給します。

=====

◆地方自治体: 「採用 民間に負けるな」試験工夫で人材確保<7/4 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/select/news/20140704k0000e040181000c.html>

◆241か所冠水マップ 国交省事務所<6/29 読売新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/local/saitama/news/20140628-0YTNT50245.html>

◆ロボの手も借りたい 急増する老朽インフラを点検 <6/29 日本経済新聞>

<http://www.nikkei.com/article/DGXZZ073296200V20C14A6000000/>

◆日立造船、欧州で下水処理設備を販売 仏で実証実験<7/4 日本経済新聞>

[http://www.nikkei.com/article/DGXNASDZ0207S\\_S4A700C1TJ2000/](http://www.nikkei.com/article/DGXNASDZ0207S_S4A700C1TJ2000/)

◆東北大学・APEX 合同ワークショップ「アジア地域に適した生活排水処理技術の開発と普及」<6/30 EIC ネット>

<http://www.eic.or.jp/event/?act=view&serial=32243&category=>

◆<手作りハザードマップ完成 古河JC 洪水避難困難者ゼロ目指す 6/26 東京新聞>

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/ibaraki/20140703/CK2014070302000166.html>

◆県内の床上・床下浸水173棟 25日の記録的大雨<6/27 東京新聞>

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/saitama/20140627/CK2014062702000161.html>

◆仮施設下水処理網渡り 仙台・復旧中の南蒲生浄化センター<6/29 河北新報>

[http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201406/20140630\\_13014.html](http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201406/20140630_13014.html)

◆燃料電池車 世界市場へ日本の力を<6/30 東京新聞>

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/column/editorial/CK2014063002000128.html>

◆相次ぐゲリラ豪雨、冠水対策に行政苦慮 栃木県<7/3 下野新聞>

<http://www.shimotsuke.co.jp/news/tochigi/local/news/20140703/1643178>

---

発行元: 公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ: <http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○ニュースレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20140410/>

○ニュースレタークイズの答えはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20140410/seikai6.pdf>

